

# 「柏崎の橋」

## 5 2 中村橋（西長鳥）

中村橋は、西長鳥中村地区の、主要地方道（県道）柏崎小国線が、山澗から信越本線長鳥駅に向かう路線にあり、長鳥川に架かっている。万延元年（1860年）の長鳥村鏡に、下崎橋、花田橋、大角間橋と並んで中村橋の記載がある、古くからの橋である。

柏崎小国線は、中村地区で主要地方道柏崎越路線と交差しており、現在中村橋は、柏崎越路線の西側にあるが（地図①）、旧北条町が柏崎市に合併した頃には東側にあった（地図②）。



① 国土地理院発行 2万5千分の1地形図『塚野山』（平成6年発行）を掲載（○が中村橋）



② 北条町発行 2万5千分の1地形図『北条町全図』（昭和33年発行）を掲載（○が中村橋）

旧北条町には、信越本線の駅が北条、越後広田、長鳥と3駅あり、鉄道の便に恵まれていたため、これに依存し、道路整備が遅れがちであった。

昭和41年に発行された、小学校社会科の副読本『きょう土北条町』では、「せまい県道、バスを通すことができないことがざんねんです」と記されているが、同時に「北条、小島、引地、山本にでてほかの県道に通じる工事がはじまっています」（注1）とも記され、将来のバス路線開通に対する願望が示されている。

中村橋周辺の県道は、1970年代末に柏崎小国線と柏崎越路線の交差点の南側道路が、1980年代末には、旧北条北小学校脇の北側道路が新設された。これに伴い柏崎越路線は、それまでの長鳥川西沿いから、東沿いに変更された。

平成10年には、柏崎駅から北条駅前、改良された柏崎越路線に沿って杉平まで、待望の路線バスが開通し（現在の柏崎駅前～杉平線）、記念のセレモニーが盛大に行われた。

現在の中村橋は、昭和60年に開通し、平成6年に塗装の塗り替えが行われた。

（注1：地図②には柏崎越路線の、北条駅前から、柏崎小国線との交差点に至るまでの路線が記されていないため、引用部分後半は、柏崎越路線の新設部分と思われる。）



中村橋

- 参考にした本  
『北条町史』（224 キタ）北条町史編纂委員会 編  
『きょう土北条町』（224 キタ）北条町教育振興会 編  
『柏崎市史資料集近世篇2上』（224 Kシハ）柏崎市史編さん委員会 編  
柏崎日報 平成10年9月1日2面